

平成 28 年 9 月 16 日

鹿児島大学病院 眼科 で

糖尿病網膜症に対する黄斑浮腫の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

糖尿病黄斑浮腫患者に対する治療実態の疫学調査(多施設共同研究)

【研究機関】

鹿児島大学病院
感覚器センター 眼科

【研究責任者】

鹿児島大学病院
感覚器センター 眼科
教授 坂本 泰二

【研究の目的】

糖尿病の患者さんのうち約 10 人に 1 人が、糖尿病黄斑症という病態に陥り、視力が低下します。これは糖尿病が進行しなくてもおこり、患者さんの生活を大いに妨げます。今まで、この治療は手術

やレーザーでしたが、最近抗 VEGF 薬という薬を眼に注射することが効果的だと報告されました。しかしながら、日本人にどの程度有効であるか、あるいはどのような日本人に有効であるかということがわかっていません。そこで、実態調査をして、どのように使う方が良いかを調べるのが今回の研究の目的です。

【研究の方法】

今までに糖尿病黄斑症と診断された患者さんのカルテを調べて、解析しますので患者さんの診断や治療に影響が出ることはありません。

●対象になる患者さん

平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日までに、鹿児島大学病院眼科で糖尿病黄斑症と診断され、何らかの治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

- ・背景
年齢、性別、糖尿病の治療歴
- ・糖尿病に関連する血液データ（HbA1c など）、血圧

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究のデータ収集は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感

覚器病学講座眼科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。
企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

教授 坂本 泰二

糖尿病黄斑浮腫患者に対する治療実態の疫 電話

099-275-5402 FAX 099-275-5402